

平成28年6月  
第011号



山家神社社務所  
sanadashrine.com/yamaga  
〒386-2201 上田市真田町長 4473  
Tel.0268(72)5700

# 山家 慎閑

## 山家郷塾理念

一、自然の恵みと祖先の恩に感謝し、日々お蔭さまの心を以て郷生の道を歩むこと

一、地域の歴史・文化・伝統を学び考へ今を照らし、故郷の振興と再生を図ること

一、永遠と続く歴史の中にある今を意識し、祖先から受け継いだモノを守り伝えること

## 中今つよがいま

あってもなくてもよいものではなく、人の生活と共に在り続けたもの。四阿山(あずまやさん/2354m)奥宮例祭を始めとする年間祭事。

山家神社には教理や経典などの教科書はありませんが、自然と人が共に生きた歴史に教えがあるのだと思います。

昨年奥宮二社ある内の一社を造営しました。多くの人達のご協力のもと200万円近い奉賛金が集まり、1t近い資材を人力で担ぎ上げることができました。一人一人の積み重ねによる大きな賜物であり、またそれは先祖より続く積み重ねでもあり、未来へとつながっていく「感謝と祈り」の心でもあります。

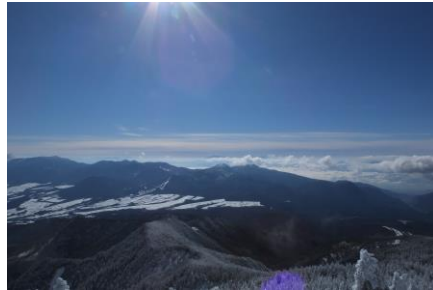
なぜこの山から流れ出る川を神川(かながわ)と呼ぶのか?永遠と続いていく「歴史の中の今」に、何を伝えていくのか?毎年の変わらぬ感謝の歩みを、伝えていきます。身体は辛いけど... 押森 慎

## 四阿山開山三〇〇年

養老二(718)年

浄定行者開山より

一三〇〇年をむかえます



### 【記念事業】(計画)

- ・ 奥(東) 宮造営事業
  - ・ 歩荷ボランティア募集
  - ・ 四阿山シンポジウム
- ほか (ご提案ください)

「多くの方のご協力をお願い致します」

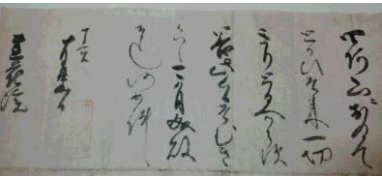
山に何を求め、何を見るのか、人それぞれ自然(神)との向き合い方があるのだと思います。

人の世は目まぐるしく変化していきますが、山は変わることもなく、生きとし生けるものに大いなる恵みをもたらしています。そして時に厳しくその大きすぎる力を顕します。

山家神社に残されている真田昌幸公の朱印状は何を意味したのでしょうか?

今も昔も、そしてこれからも私たちがとって変わらない御山のこと、開山一三〇〇年に向け考えてみませんか?

「四阿山の樹木伐採を制限する朱印状」



## 四阿山に込められたモノ

四阿山語源の説は多々ありますが、古より信仰としての御山であり、その信仰をぬきにして語ることはできません。

此山より流れ出す川は滝沢・大明神川

一致して神川(加賀川)と云う

北の方へ落る川を越川と云

南へ落る川は上州と根川の上なり

合わせて「四流絶頂」の雨を垂ると云

四方に軒を伸ばす様に、広い地域に水(恵み)を分ける神の山。文政十二年の『四阿山縁起』には「東西花童子流一致して神川と云う。北南流を越川・鳥居川と云う。此四流を以て水家柱太敷立て、蒼生永長の守護神と鎮め奉る」と真田・須坂・嬭恋へともたらされる水の信仰を伝えている。

### 【開山一三〇〇年への願い】

この四阿山の核心である四流の地域一帯となり、先祖から伝わる御山を守り、そして護られて次の世代に伝えていきたい。あずまや高原ホテルよりの西参道↓西花童子(中宮)↓西宮(上州向)。鳥居峠よりの東参道↓東花童子(中宮)↓東宮(信州向)。毎年交互にそれぞれの登山道を登り神事を行う形に整えたい。それには東花童子への中宮復興及び嬭恋村の皆さまのご協力が不可欠です。相互の連携及び働きかけによるご協力をお願いします。



納付信  
奉納者  
根川迄  
現埼玉県  
利根川

